



10月の映画会

1階鑑賞室 定員30名 先着順 無料 14:00～(13:30開場)

10月10日(金) 名作映画鑑賞会

「マチネの終わりに」

(2019年・劇映画・カラー・124分)

10月17日(金) 金曜映画会

「つばめを動かす人たち」 (1954年・教養・モノクロ・24分)

「雪にいどむ」

(1961年・教養・カラー・29分)

10月23日(木) 郷土に親しむ映画会

「農民のロケット 吉田の竜勢」 (1981年・教養・カラー・20分)

「秩父の通過儀礼 その3 若衆組と龍勢」

(1981年・教養・カラー・38分)

※9月29日～10月3日までは特別整理期間のため休館します。

 お問い合わせ

埼玉県立熊谷図書館

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目6番1号

TEL 048-523-6291



埼玉県のマスコット

コバトン

※駐車台数に限りがあるため公共交通機関での来館にご協力ください。

名作映画鑑賞会

10月10日(金)

14:00～

「マチネの終わりに」

(劇映画・カラー・124分)



ークラシックギターの響きとともにー

クラシックギタリストの聡史は、パリでの公演のあとジャーナリストである洋子と出会います。二人は食事会などを通し、互いに惹かれ合います。洋子には婚約者がおり、聡史もそのことを知っていましたが、募る思いは留めることはできず、聡史は洋子に思いを伝えます。しかし、マドリード公演後まで待つ欲しいと返事を保留にされてしまいます。公演には行けなかったものの、二人は日本で再開する約束を交わすのですが、さまざまな出来事が二人に立ちまわります。

※この作品は県立久喜図書館のDVDです。

金曜映画会

10月17日(金)

14:00～

「つばめを動かす人たち」(教養・カラー・24分)

昭和29年のある朝9時の東京駅発東海道線。当時最速の特急「つばめ」は大阪へ向け出発します。機関士の出発前や、車内乗務員の姿の見える部分から、乗客からは見えない部分までの仕事内容が、鮮明に映し出されます。また当時の街並みや田園風景など、沿線のさまざまな景色が残されています。この映画は「つばめ」に関わる人たちの記録です。

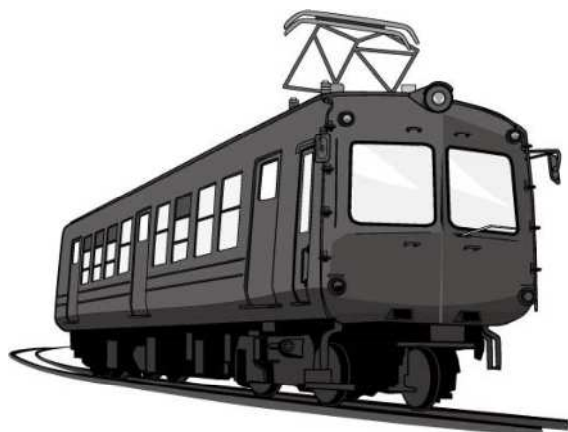


※この作品は県立熊谷図書館のDVDです。

「雪にいどむ」(教養・カラー・29分)

鉄道にとって危険な雪。南北に長い日本列島には多くの豪雪地帯があります。鉄道に関わる人は雪を研究し線路を守る方法を検討します。除雪車も登場しますが、やはり人の力でないといけない箇所もあります。そんな駅の構内や沿線で除雪作業に専念する人たちを記録した映画です。

※この作品は県立熊谷図書館のDVDです。



郷土に親しむ映画会

10月23日(木)

14:00～

「農民のロケット 吉田の竜勢」 (教養・カラー・20分)

秩父地方の旧吉田町に伝わる「竜勢」。この映画では各地域のロケット作りを映し出します。

※この作品は県立熊谷図書館の16ミリフィルムです。

「秩父の通過儀礼 若衆組と龍勢」 (教養・カラー・38分)

秩父地方の若衆組は村の年中行事で大切な役割を担っていました。10月5日の棕神社への奉納までの2か月間、若衆組が集まりを通じて、龍勢を作成する姿を映し出します。

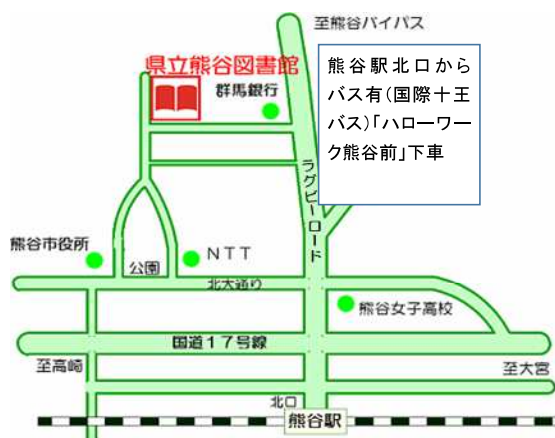
※この作品は県立熊谷図書館のDVDです。

* 11月の映画会 *

11月7日(金)	名作映画鑑賞会	14:00～	「海の上のピアニスト」(劇映画・カラー・121分)
11月14日(金)	県民の日映画会		「フランダースの犬」(アニメ・カラー・103分)
11月21日(金)	金曜映画会		「プロフェッショナル 仕事の流儀 [114] 遠くを見ない、目の前を生きる」(教養・カラー・49分)
11月27日(木)	木曜映画会		「日本百名城 映像が物語る歴史ロマンの遺産」 (教養・カラー・80分)

(上映する作品は変更する場合があります。)

* 埼玉県立熊谷図書館アクセス地図 *



公共交通機関でのご来館にご協力ください。

編集・発行 埼玉県立熊谷図書館

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目6番1号

TEL 048-523-6291

埼玉県立図書館WebサイトURL

<https://www.lib.pref.saitama.jp/>

2025.9月発行